

会 議 録

1 会議名	第 2 回南砺市男女共同参画推進審議会
2 議題(公開)	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 付議事項 ①「南砺市男女共同参画推進プラン＜第3次＞」策定に向けてのアンケートについて ②市民向けアンケートの内容について ③自治会向けアンケートの内容について ④企業向けアンケートの内容について 4. その他 5. 副会長あいさつ 6. 閉会
3 開催日時	令和 7 年 5 月 30 日(金) 開会時間:午後7時／閉会時間:午後9時10分
4 開催場所	南砺市役所 本館3階 302会議室
5 会議出席者	[委員:出席12名／全14名] ※50音順 安達 望、岩井 透、大坪 久美子、佐竹 弘昭、津田博美、戸成 博宣 中川 敬子、宮林 悠夏、百生 詩緒子、山崎 賢治、和田 弘恵、渡邊 美和子 [委員:欠席2名] 越後 佑子、此尾 治和 [市:出席4名] 事務局 市民協働部 部長 溝口 早苗 南砺で暮らしません課 課長 大浦 幸恵 “ ジェンダーギャップ対策・婚活若者係 係長 谷口 英里 “ “ 主任 米 由香利
6 傍聴者	なし
7 会議記録 開会 会長あいさつ	午後7時00分 ・新任委員・事務局紹介 会長 この審議会では第3次の推進プランを作るという大きな使命があります。第2次からいらっしゃった方は分かるかと思うんですが、第2次の内容は今現在にはふさわしくないような内容もありますし、世の中の進み具合はとても早くなっています。そ

	の中で南砺市はいろいろな点で、遅れており、不十分なところが多くあることが前回のアンケートで分かりました。若くてやる気のある方が自分の夢に向かって進めるような南砺市を作るには本当に男女共同参画推進が不可欠だと思っています。私は人権擁護委員をしておりますので、やはり人権という視点から見ても、おかしいと思うところはたくさんあります。今、国会でも夫婦別姓が議論されています。それは男女共同参画とか人権とかではない課題もあるもので、そう簡単には、どっちがいいってことは言えないんですが、どんな人も自分の夢に向かって、生まれながらに持っている性別によって阻止されるようなことがないように、第3次は今よりも進んだ強い思いを込めて作りたいと思っています。今日はそのためにも、必要なアンケートの提案がありますのでこのアンケートをみんなで確認していただいて、結果を持ってプランにどう入れるかという議論をしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。
付議事項	(1)「南砺市男女共同参画推進プラン＜第3次＞」策定に向けてのアンケートについて (2)市民向けアンケートの内容について (事務局より説明) 事務局 市民アンケート依頼の添書について、上から6行目、「ご記入並びにご返答について」をネット回答も今回から追加するため、「ご回答について」に変更をお願いします。 会長 ありがとうございました。これまでのご説明で何かご質問はありますでしょうか？ 説明の中にもありましたが、第2次策定時のアンケートと比べて訂正したところが多いのですが、当時より意識も変わっているところもあります。10年前はこんなこと聞いてたのかというような感想を個人的にはもちました。第2次の改訂の時に「南砺市らしさ」という表現が多く出てきました。「南砺市らしさ」って何？と審議会の時に意見が出まして、表現が曖昧で、綺麗なように聞こえる言葉ですが、どこか差別を残しているという意見が出て、改定の時にはこの言葉は使うのはやめるという経緯がありました。この経過も含めて、今の説明のような提案にはなっています。この提案をお聞きになっていかがでしょうか？ご意見やご質問でもいいです。 副会長 問2-19で、多くの固有名詞が出ていますが、これは現在も存在している機関か確認されましたか。 事務局 はい、存在しています。 副会長

問 2-24 に「幸福度」という言葉が出ていますが、このアンケートの中では「幸福度」は出てなかったような気がします。今少し唐突に出てるような気がします、いかがでしょうか。

事務局

前回のアンケートの時に、この幸福度も聞いていて、この設問は会長とも相談させていただきました。男女共同参画で幸福度はどうなのかということ、一旦相談をさせていただいたのですが、直接は関係ないかもしれないけど、それが広まったら、また幸福に繋がったりするので聞いてみたいという思いから、このまま入れさせていただいております。

副会長

わかりました。県の政策として「ウェルビーイング」という考え方を今広めておられますので、それに叶うのかなと思いました。少し定義付けが必要だと思いますので、意見を言わせていただきました。

会長

事務局の説明があつた通りです。定義付けというか、これは主観なので、ここで幸福度が低いから必ず男女共同参画の問題が原因かどうかは分かりませんが、聞いてみたらいいかなという感じで入れましたが、いかがでしょうかね。ふさわしくないとされるんでしたら、削除っていうのも一つかなとは思いますが。

G 委員

聞いたらいいと思いますよ。南砺市の方がどの程度のことを考えてるのは把握する術がないので、見た方がいいと思います。そうしたらやり方などいろいろ考えられるし、すごく大事だと思いますね。

I 委員

幸福度も少し唐突のような気もしますが、年代によってはこの男女平等感で幸福度が決まるということも考えられるので、入れてみたらいいかなと私は思いました。問 2-8 の設問で、「女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次のどれですか？1つだけ○をつけてください」ということで、これ県と国とに合わせたという話を聞いて、県と国にものを申すわけじゃないのですが、この「職業」の定義があるのかなと思ってます。「ずっと職業を持つ」よりは「ずっと仕事をする」とか、そういう言い方になります。また結婚などして、パートとかやってる人とか、それを職業って言うんですかね、ということもあります。「職業を持つ」何をもって「持つ」というのか。正社員じゃなきゃいけないのかとか、人によって持つイメージが違うと思うんですけれども、何をもって職業というふうにしてるのか、パートとかは職業にならないのかとそういったことも含めて教えていただけると助かります。お願いします。

事務局

前回のアンケートも職業となっており、そのままこの文言にしました。委員のおっしゃる通りで、確かに職業となると、書き手の迷いもあり、回答しにくくなるのかなと今の意見をお聞きし思いました。

I 委員

言葉はいいんですけど、多分印象だと思うので、パートだと職業って言わないのかなと思うので、別ページに用語解説が書いてあるので、そこに職業の定義を書いていただいたらいいのかなと思います。パートを含む、含まないなど。私はこれ見て、どう答えたらいいのか分からないなと思いました。

会長

確かにその通りですね。用語解説というよりも、この設問の下に括弧して、色々な働き方を含む等、コメントをつけたらいいと思うのですが、いかがでしょうか。職業という用語解説っていうのも難しい気がするので、例えば不定期の仕事とかもありますよね。「働き方は問いません」など。適切な言葉がどうかわかりませんが、この設問で誤解のないようなコメントを追記したらいかがでしょうか。富山県も職業というのを使ってるし、前もそうだったので、ここで変えるのは適さないかなと思います。

I 委員

何を求めているのかなと思ったんですよね。質問自体が何を聞きたいのかなというところで引っかかっていて、質問の意図が分からないから、例えばパートとか知ってる人は職業を持つて言うんだらうかって迷うんだらうかと。ここで知りたいのは何なのかなっていうところからちょっと引っかかってしまいました。

会長

前の結果と対比していくために、揃えられるものは揃えるでいってるのですが、しかしながら前の時どういう趣旨だったかっていうのはここでは限定できないので、アンケートを採る私たちがどういうことを聞きたいのかここで再確認して共通理解にしなければいいと思いますが、いかがでしょうか？

D 委員

「職業」の意味を検索すると、職業とは生計を立てるために日常的に従事する仕事の種類を表すそうです。「仕事」は、生計を立てるための活動全般。「職業」は日常的に従事する。という意味だそうです。

会長

日常的に従事しているとなると、例えば自分の特技を活かしてお教室やるとかは含まないことになりますかね。

H 委員

問2-8, 2-9, 2-10と、繋がっている質問かなと思います。多分2-10が設問内容を見るに、雇用されしかも正社員のような前提であるような説明に見えるので、設問の意味としては正社員として働けるかどうかというのを聞いた上で、それができないのはなぜかということ掘り下げたい、といくような流れを持っていたのかなと感じます。

会長

問2-8で望ましいと思うのはこうだけど、その通りに言ってるかどうかということが知りたい流れなんだとは思いますがね。雇用をされる側で、雇用側の都合とか社会的通念で辞めざるを得ないというのが昔はよくあり、今はその雇用形態とか昔に比べたら様々だと思います。そこが10年前20年前にやってるアンケートと同じことを聞いてもその職業とか雇用とか、仕事を発想されるものが違う気がします。これは定義づけをすると余計にややこしくなるから、自分のイメージで書いていただくという形ではいけないですかね？先ほど言ったように、但し書きは入れるとしていかがですか？

副会長

問2-8から連続する3つの質問の最後には、「女性の管理職等への」ということが書かれていますので、正社員に対して、職業というふうに聞いているように思われます。女性の職業に関して、M字カーブっていう事柄が非常に問題になっています。男性と同じように大学卒業した後に就職しても、結婚出産を機に、女性はその雇用市場から出ていくことが、問題になってると聞いていますので、この設問に関しては、その分野の女性たちに対してどのような考えを持っているかということ聞いていて、今後の政策に反映させるという考え方でどうでしょうか。

会長

つまり、このままにして但し書きもいらないということですかね。いかがでしょうか？一人ひとり捉え方は違うとは思いますが、このまま聞いてみるというのもありかなという気がしますね。

D 委員

結婚・出産したら専業主婦になることが多い時代に作られた設問を続けているということであれば、それがかなり減ってきているのかなっていうのを、継続して見るためなのかなって思われます。それであれば定義を書いておいた方が、それに対する考え方が変わってきている様は追えるのかなと思うんですけどね。

会長

県も定義してないんです。なので、理解は統一しなくてもいいから、このまま推移を見るというだけでもいいかと思います。原則、経過を見たいと思って、同じ内容のものを持ってきてるんですが、今更こんなこと聞いて、女性を馬鹿にしてるんじゃないかっていうものはあえて削除となっていますので、これはこのまま入れて、

定義づけもなしで、結果を見るということにしますか。

J 委員

資料2の添書内の目的について、皆さんと共通の理解をしたいと思います。まず、「時代に則した基本目標を定め、市民や地域、事業所、市が取り組むべき課題を明らかに…」とありますが、これまでの内容をまとめると、国や県のベンチマークするという目的が1つ、次に前回アンケートしたものとの変化点として南砺市がどう変わってきたかという、少なくともその2つが今のこのアンケートの趣旨にはあるということを理解したんですが、南砺市が実際に基本目標や指標として定めているものを、実際推移が見たいときに、逆に追加しなければいけない設問だとか、そういった観点が抜けているような気がしたので、あくまで前回に対して修正と削除という観点だけだったところが適切なのかというのが疑問に思いました。次に、このアンケート自体は、資料1のところで無作為にされるということと、男女共同参画推進員にするという2つの話がありましたが、男女共同参画推進委員の方を対象にすると、悪い意味で、結果はよく出る方向になることもあるんじゃないかなと思いました。当然、男女共同参画に対して前向きにいろいろ取り組んである方の意見が入ると、アンケートにずれが生じるのかなと。今のこの設問1にそういう方をフィルタリングする項目はないので、男女共同参画推進をフィルタリングできるように設問自体を増やすのか、それとも無作為にするか、どちらかにした方が適正な分析がその後できるのかなと思いました。

会長

足りないところはこの後にお話ししようと思っていたのですが、その通りだと思います。県との対比もはじめてから県のアンケートに照らし合わせて作ったわけではなかったと思います。第2次の改定の時に県の進捗状況とか、県のプランも念頭に入れて作るという視点が入って、似たようなものは文言は一緒にするという提案が今されているので、県と必ずしも対比してるわけでもない箇所もあります。

J 委員

最終的にアンケートをまとめた後、それをどう使うかということをイメージしてアンケートするべきだなと思ったので、そこがちょっと、もやもやしてる言うか、もう少し言語化しておいた方がいいかなと思います。

会長

男女共同参画推進員向けのアンケートは良い数字が出てしまうということについては、いかがでしょうか。

事務局

市民向け2000部の他に、別に男女共同参画推進員に配布するイメージですので、市民向けの中には男女共同参画推進員は含まれません。これは前回と同様の採り方となります。前回は市民向けと男女共同参画推進員合わせた集計結

果しか出していません。

G 委員

このアンケートは富山県で配布されるのか？

会長

これは南砺市だけです。

G 委員

南砺市だけなのに、県の意向が入っているということですか。

会長

意向ではなく、設問の表現を揃えただけです。男女共同参画推進員のフィルターをかけるかどうかは、一旦事務局に持ち帰っていただいて検討ということをお願いします。個人的には市議会議員も男女共同参画推進員も別で採ってみたいですが、正直に答えられないことも考えられるし、全体的な影響はないのかなと思いますね。

B 委員

問 1-1 性別を問うものですが、「答えたくない」を追記した方がいいのではないかと。全国的な傾向を参考に考えた方がいいと思う。

会長

答えたくない人は答えないから必要ないのではと思うのですがいかがでしょうか。
この議論はいろんなところでされますよね。どちらでもないという方もいれば、どちらでもないということを書きたくない方もいらっしゃる。なので、「答えたくない」を入れるのはいいと思いますが、個人的には答えたくない人は答えないと思うので、入れなくてもいいかなと思います。

H 委員

「答えたくない」を入れるとすると全ての設問に入れる必要があるのかなと思います。

J 委員

冒頭に「答えられない設問は答えなくてもいい」と記載したらいいのではないかと。

会長

そうしましょう。問 2-4 の区分はこのままでよろしいでしょうか。

F 委員

わからないやその他をいれると、回答がぼけると思います。最近は結構そっちに

回答が流れる傾向があると思いますので。

H 委員

項目1の「共に」は、ここに入っていると「2 人一緒に」という意味もあわせもっていると思います。

会長

そうですね。では「共に」は削除しましょう。

D 委員

項目2の「主に女性が介護すべきである」があれば、「主に男性が介護すべきである」も入れたほうが良いと思います。

会長

そうですね。ただ、今の現状は男女平等になってないからこのアンケートを採っているので、すでにバイアスではありますが、男性の文言を追記すべきかどうか。それを言うと、全ての設問に引っかかってきますよね。介護の問題は非常に難しいと思います。

I 委員

ジェンダーギャップのアンケートを採るので、男性の文言はいらないと思います。あと介護の問題はいろいろあるので、わからないをその他にして、自由記載にしたらいと思います。自由記述にするとアンケート集計は大変かもしれませんが。なるべく単純な設問にしながらも、聞きたいことが聞けるアンケートにしたらいと思います。

会長

たしかにそうですね。その他にした上で、自由記述を入れる方が良いと思いますね。改訂時の子育てアンケートは基本的に記述にしました。でも集計がすごく大変だったので、なるべく記述ばかりというのは避けたいんですが、記述のところに本音が出てきてすごく参考になった記憶があるので、記述はあった方がよいと思います。

H 委員

この設問はジェンダーにあのフォーカスしているのか、それとも介護の負担そのものを下げようとしているのか。何を言いたいかというと、項目の1、2番の設問と3番の説明が趣旨が違ふような気がします。

会長

介護の実態調査をしたいわけではないのですが、実際に直面している方はいろいろな事情がおりだと思ひます。そこはあまり深く聞かずに、このまま「どのように思ひますか」という設問形式に変更し、項目1～3はこのままで、4にその他を追

加しましょう。

事務局

（資料2－1について説明）

市民意識調査で政策推進課がすでに採っているアンケートです。これもプランに反映させる予定です。

B 委員

問 2-7 のイラストはこのまま残しますか。

事務局

前回のがそのまま残っているので、今回は消します。

H 委員

アンケートの対象年齢について、家庭向けの18歳以上ということで、これで結構だと思います。ただ、今回すぐに盛り込んでいただきたいということではないのですが、子どもたちがどう考えてるか、例えば中学生や高校生を対象に、家庭でのジェンダーギャップを子供たちなりにも感じているのかなと。自分が将来こうしたいとか、思いが実は変わってきているんじゃないかなと期待もあります。そういう結果で、良い方になっていくのも吸い上げていけたらいいかなと思いますね。

会長

今回は無理かも知れないですが、こども課でも、こどもの権利委員とかもやりますし、人権擁護委員も人権教室も開催してジェンダーの話もしています。なので、こどもたちの意識を吸い上げる機会があればたしかにいいですね。推進プランで入っていくようになるのかな。また追ってそういう場を作りたいと思います。

J 委員

市民意識調査アンケートと対象者、対象年齢は一緒ですか。

事務局

はい、抽出方法から全く同じです。

J 委員

地域などを聞く意味があるのかわからないが、世代別の意識調査が必要で、特定の年代や性別のグループがどのような課題や要求を持っているかを特定した方がよりいい施策や分析に繋がるのかなと思いました。

事務局

年代別の結果は毎回出ておりますので、同じように年代の意識は出せると思います。

(3)自治会向けアンケートの内容について

(事務局より説明)

事務局

依頼の添書について、市民アンケートと同様に、上から6行目、「ご記入並びにご返答について」をネット回答も今回から追加するため、「ご回答について」に変更をお願いします。また、一番上の「地域づくり協議会」を削除し、「自治会」に変更をお願いします。③-4の中央、「婦人会」という文言を削除をお願いします。資料No.3-1は、地域づくり協議会の3役に向けてのアンケートになります。地域づくり協議会にはこの内容でアンケートを実施しているので、今回は町内会・自治会向けに採ることにします。

会長

地区名を記入していただくことは大丈夫ですかね。地区名を記入していただくに当たって、良い回答が出てきても困るのですが、どうでしょうか。

F 委員

地区名を記入していただいて大丈夫だと思います。

会長

自治会・町内会向けアンケートの③-2、※【問6】で「ア、参画してほしい」「イ、参画してほしいが無理だと思う」を選択された方にお伺いします。の設問で、問6が削除されると矛盾が生じるので、※【問6】で「ア、参画してほしい」「イ、参画してほしいが無理だと思う」を選択された方にお伺いします。を削除し、問7をみなさんに答えていただくことにしましょう。また、事務局からも説明がありましたが、地域づくり協議会向けには現在アンケートを採っている最中なので、今回のアンケートは自治会・町内会のみに行なうということです。また、南砺市は地域にジェンダーギャップが残っているということが歴然としているので、意識が上がっているかどうかは別にしても、すでに市でさまざまな取り組みを実施しております。地域づくり協議会よりも地元の町内会とか、一番身近に生活しているとこのところに行けば行くほど、先入観がなかなか取れなかったり、慣習が拭いきれないというのが実態だと思います。私も地域づくり協議会に関わっているのですが、町内会で話をすると、女性を半分入れるとか無理だという意見が必ず出てきます。地域づくり協議会は別のデータで見えていくことにして、町内会や自治会のアンケートということにしたいということになりますが、いかがでしょうか。また、今説明あったこの中身がどうでしょうか。何かありましたら、お願いします。

H 委員

女性が役員を務めるにはどうやって参画を促していくかというような設問が多い

ですが、もし加えるとしたら、地域の中で主に女性のみが役割を担っているものはないかと聞いてみたいです。というか、あるんですね。3役の奥様が賄い係をやるということがありました。私もやりましたし、慣例で残ってる。やはりジェンダーとして、別に女性に限る必要もないかなというのもあるので。「そういうものはありますか」と聞いてみてはいかがでしょうか。

副会長

今委員からおっしゃったように、婦人会はなくなったけれども、そういう役割を担わせるために女子部を作ったとお話を聞いたことがあったので、逆行してますよね。やめてほしいという意味で、アンケートの中に書くっていうのも必要かなと思いました。

会長

そうですね。いいかもしれない。そういう女性は肩書きとか役がなかったりするんですね。

H 委員

「3役の奥様」が肩書きですね。

G 委員

婦人部がなくなると、その矛先が役員の奥様に向かいますよね。

会長

婦人会がうちの地区でなくなった時、女性の意見が入らなくなるから女性部を作してほしいと言った時がありました。そしたら、その時の会長さんたちは、その女子部を誰にも頼めないから、自分の妻にしか頼めないと言ってたことがありました。今でも地域づくり協議会の会長さんとか、女性役員を入れなくても、行事の時には女性が全部やってくれてると言ってる。それが問題なんですよと。っていう感じがあるので、それはいい聞き方かも知れないですね。女性が地域の行事で何も手を貸してない地域はないと思います。それがダメではないですが、やっぱり意思決定に関わってますかっていうことなので、そういう意味で、どういう聞き方がいいですかね。

会長

文言は事務局に一任して、そういった設問を一つ適切な場所に追加することをお願いします。

J 委員

町内会・自治会の表記はこれでいいですかね。あと、市民アンケートの依頼添書には、「男女共同参画社会とは」という説明文が入っているのに、町内会・自治会向けには入っていないので、啓発的な意味もこめて町内会・自治会向けにも入れ

たほうが良いと思います。

会長

そうですね。この「男女共同参画社会とは」の説明はいずれの添書にも記入することにしましょう。

(4)企業向けアンケートについて

(事務局より説明)

④-8 ページは、セクシュアル・ハラスメントに文言を統一をお願いします。

A 委員

④-2、問3について、そもそも業種によって女性の数が全く違うので、単にこの女性管理職が合計の10%にもあるっていう言い方は、多分難しいと思うんですけど。例えば、100人いて5人しか女性いないところに10%以上というのは難しいですよ。

副会長

業種を問1で聞いていますが、ここに紐づけることはできますか。

事務局

紐付けとなると、少し難しいのですが、聞き方などで対応できることがあればということになりますかね。

J 委員

この設問3は設問2に係っているのですかね、それとも全体としての設問ですかね。

A 委員

どうしてもこの聞き方は難しいと思います。女性が多い業種もありますし。

会長

答えてもらえなくなるということですよ。女性ばかりの職場は答えられないですよ。

B 委員

女性管理職が少ない理由はどのような理由からですか。という聞き方をすれば、すべての事業所が答えられると思います。

会長

では、そうしましょう。

J 委員

この企業・事業所向けアンケートは無記名ですか。

事務局

無記名の予定です。

J 委員

南砺市では、「SDGsパートナー企業」や、「なんと！やさしい子育て応援企業」という事業をやっていると思うので、男女共同参画とは直接的ではないかもしれませんが、昔はなかった取り組みに賛同することで、選ばれる町や選ばれる企業になる側面もあるのかなと思いました。あわせて、啓発もこのアンケートで伝えれたらいいですね。

A 委員

今の話して、「SDGsパートナー企業」や、「なんと！やさしい子育て応援企業」の事業を知らないから教えてほしいというチェックボックスをつくり、企業名を書いてもらうという方法もあると思います。

D 委員

問2で、役職について問われているのですが、一般職は役職のない方であるならば、設問の仕方がつじつまが合わないかなと思います。あと、④-3 ページ、ポジティブアクションという言葉聞いたことがありますか。を削除されたと言っていました。ワークライフバランスとかセクシャルハラスメントの方は、設問として生きていて、そうすると、こっちも同じように聞いてもいいんじゃないかなと思いましたけどどうでしょうか。ポジティブアクションの方が知られていないことが多いのではないかなと思います。

A 委員

言葉として聞いたことはあまりないですね。

D 委員

いろんな場面で女性が本当は半々ぐらいいてほしいのに少ない時に積極的に女性を採用するっていうのがポジティブアクション、それを、逆差別みたいに取りられないように、もともと格差がある現状から積極的に女性を増やすんですよというアクションとして、理解を広めているというものになるんですね。

副会長

削除となっていますが、戻してもいいと思います。

会長

知ってるか、知らないかより、取り組んでいるか、いないかを聞いてみたいですよ

ね。

J 委員

ポジティブアクションという言葉が知らなくて、今調べたんですけど、別の言葉でダイバーシティ&インクルージョンという言葉が出てきました。この話に近い概念として、多様性を受け入れるというイメージの言葉なんですけども、ポジティブアクションが古いとは言わないですけどもアップデートされていくのがその概念が変わっていくってところをどう見るかなと思っています。

D 委員

男女の格差を是正するということのプランなので、ここでは、ポジティブアクションが適しているのかなと思います。

G 委員

これは、男女共同参画の中に多様性も含まれているのか。男女共同参画がメインですよ。

会長

はい、そうです。第2次改訂でパブリックコメントを出した時に、南砺市始まって以来の60件以上のコメントがきました。数人の方からだったのですが、多様性のことについて研究してるような方から多くいただきました。今は、男女共同参画というよりも、多様性の視点でご意見をいただきました。確かに多様性はもちろん大切だけど、南砺市の課題として男女共同参画をやるということに絞らせていただいていますとお答えしました。第3次を作る時に検討します言いました。そこまでやると広がりすぎて混同してしまうので。

Iさん

ポジティブアクションは2020年頃から内閣府が言ってきた言葉ですが、あまりメジャーにはなってないですね。今、知っていますかと聞いてもどうしようもないので、取り組んでますかが良いと思います。世界の流れは多様性かもしれませんが、南砺市はまず女性を入れることが多様性の第一歩だと思います。

会長

そうですね。まとめていただきありがとうございます。では、取り組んでますか、取り組んでないかでいきましょう。

D 委員

④-3 上部のポジティブアクションの説明のところで、格差ではなく男女格差と記載した方がよいと思います。セクシャルハラスメントとワークライフバランスは、知ってますかになっていますが、いいですか。

その他 副会長あいさつ	会長 10 年前と比べて、どれだけ認知度が上がったかをみるためにも、このままでいきましょう。先ほど、多様性の話しが出ましたが、第 2 次改訂の時に、「男女関係なく」という文言から「性別に関係なく」に統一しました。 H 委員 問18で、こういう制度があるという目的も兼ねているのであれば、時間単位年休制度も追加してほしいです。子育て世代の親にとっては、大変有効な制度です。これにより、有休消化を抑えることができます。 J 委員 今の話に関連して、有休の取得促進もあればいいと思います。 会長 そうですね。いれましょう。並びは事務局にお任せします。 今後のスケジュールについて (事務局より説明) 副会長 皆様、長時間にわたる慎重なご審議ありがとうございました。アンケートの一つ一つについて皆さんと読み解くことで、私たち自身の理解が進んだように感じます。そしてより有益なアンケート結果をもたらすと考えています。3 種類のアンケートを考えておりますが、その結果が第 3 次プラン作成に当たって、非常に重要な役割を持つと考えています。そのアンケート結果についてもできるだけ早く市民の方々に対して告知していただいた方がよろしいのかなと思いました。本日は本当にありがとうございました。
(5)閉会	午後9時10分